

## 第3章 どのようなことをするのか（具体的な取組）

### 1 家庭・学校・地域等における子どもの読書活動の推進

#### （1）家庭における子どもの読書活動の推進

##### 【第1次計画の成果・課題】

保育所では、子どもの健やかな成長には、保育所だけでなく家庭でも読書を楽しむことが大切だと認識しています。

園児の保護者を対象とした調査では、絵本の読み聞かせや読書への関心が高いことがわかりました。また、保護者が読書ボランティアとして保育所の読書活動に貢献する事例も増えてきています。親も子も読書への関心が高まるように、今後もなお一層保護者への広報活動等、工夫しながら推進していきます。（保育課）

幼稚園においては、子どもや保護者が見やすい場所に絵本コーナーや季節に合わせた本の紹介コーナーを設置したり、お薦めの本をお便りで紹介したりして家庭にも読書活動を浸透させていくように努めてきています。

各小中学校においては、子どもの年齢に応じたブックリストを作成したり、カウンターまわりや図書館前の廊下などの特設コーナーにお薦めの本を置いたりして、子どもたちが主体的に本に関われるような工夫をしています。ブックリストについては、新しい本や子どもに是非読んでほしい本、国語の教科書等で扱われている作品の作者の本や関連する本を入れるなど、各学校で改善を重ねています。また、司書教諭や学校司書が発行する図書だよりやPTA広報紙等にも、教員のお薦めの本や季節の本、新刊本の紹介、読み聞かせの大切さなどを掲載し、子どもだけでなく、家庭でも読書に関心をもってもらえるように努めています。

また、「子ども読書の日」に合わせ、ポスターを掲示したりお便り等で読書の楽しさや大切さを伝えたり、紙芝居や読み聞かせを行ったりしてきましたが、今後さらに、広報活動を推進していきます。（学校教育課）

図書館では、子どもの年齢にあったよい本を紹介するためにブックリストを作成し、子どもと本の仲立ちをしています。平成19年度には『このほんばーった！図書館員が選んだおすすめの絵本』を改訂発行し、平成21年度は『このほんばーった！図書館員が選んだおすすめの読み物』、平成23年度は『この本ばーった！図書館員が選んだ赤ちゃんから楽しめる絵本』を発行し、市内の小中学校、幼稚園、保育所、市立図書館来館者に配布しています。冊子を手にも、本を探す親子の姿が見受けられます。

また、「家族ふれあい読書」イベント会場の日本平動物園で配布し、家庭への読書活動の啓発・広報を実施しました。

今後のブックリストの発行は、平成25年度に『調べる時にはこんな本』に代わるものとして特定のテーマを調べるための関連資料や情報を紹介する「パスファインダー（調べ方案内）」を作成・発行し、以降『このほんばーった！』の改訂版も順次発行していく予定です。季刊子ども向け図書だより『ひらけごま！』では、仕事、サ

ッカー、エコロジー&エネルギーなどの特集を組み、本の紹介ページを設けています。楽しく、興味深い内容になるよう編集していきます。

保護者に対しては、保健福祉センターで行われる6か月児育児相談の機会に、ブックスタート事業を行い、絵本やアドバイス集を渡しながら、読み聞かせや読書の重要性についての理解の促進を図りました。さらに、フォローアップ事業として、ブックステップ事業を立ち上げ、1歳6か月児健康診査時に読み聞かせの意義や方法、絵本の紹介等を行いました。ブックスタート事業では静岡市の6か月児親子の90%が参加しました。この数値が100%に近づくよう、保健福祉センターと協力して継続実施していきます。2か所の保健福祉センターで始まったブックステップ事業は、5年間で7か所に増え、今後も実施センターの拡大を目指します。(中央図書館)

青少年育成課では、家族での読み聞かせや読書の重要性について保護者に理解してもらえるよう、イベントの広報(ポスターの掲示やチラシ等の配付)を行いました。(青少年育成課)

生涯学習施設では、子どもの読書活動の推進に寄与する各種講座や講演会を開催しています。各家庭において子どもが本に親しめるよう、主に子どもを持つ親を対象に開講している家庭教育学級等で、読み聞かせの重要性についての講演会や、絵本の選び方に関する講座を実施しています。家庭における親子のふれあいや関わり方について学ぶとともに、子どもの読書環境の向上や親子が一緒になって本に親しむ機会の提供にも繋がっていくよう、今後も継続して実施していきます。(生涯学習推進課)

男女共同参画課では、平成15年度に実施した絵本コンテストの大賞受賞作品である「200さいのブタ」を出版するとともに、著作権期間の満了する平成20年度までの5年間、幼稚園、保育所を通じて、市内の5歳児に配布してきました。事業は、平成20年度で終了しましたが、絵本の配布を通じて、家庭での子どもの読書機会のきっかけにつながったものと考えています。(男女共同参画課)

文化振興課では、計画策定の平成19年度から、静岡アートギャラリーで開催した展覧会の図録を制作し、啓発活動の一環として、これからの静岡市を担う子どもたちの感性や創造性を培うことに役立ててもらうため、図書館等に図録を寄贈してきました。静岡アートギャラリーが閉館となった平成22年度以降は、同年に開館した静岡市美術館が引き継ぎ、継続的に取り組んでいます。5年間で寄贈先は延べ420箇所、寄贈配布冊数も延べ1,500冊以上となり、啓発活動を推進できました。(文化振興課)

## 【取組】

### ① 家庭に望まれること

子どもが読書習慣を身に付けるうえで、家庭は非常に重要な場所です。家庭において、引き続き以下の取組が望まれます。

### ○ 幼いころからの読み聞かせの実施

幼い子どもは、読み聞かせをしてもらうことで、本に親しみ興味を持つようになります。

## ○ 身近に本がある環境づくり

いつでも手の届くところに本があることで、読書がより身近なものになります。学校図書館・公立図書館\*8・家庭文庫等で本を借りるなど、地域の読書に関する施設の有効的な活用が望まれます。

## ○ 家族で読書を楽しむ

子どもが成長してからは、読書の時間を共有したり、本の内容を話題にするなど、家族で読書を楽しむことが大切です。

また、家族で公立図書館や書店に出かけたり、地域で実施するおはなし会や読み聞かせ講座等、読書に関わる様々なイベントに参加することが望まれます。

## ② 家庭への読書活動の啓発・広報

本市では、保護者に対して、読み聞かせや読書の重要性についての理解の促進を図るために、「ブックスタート事業」や「子ども読書の日」の関連イベント、各種講座等を通して啓発・広報を実施していきます。

また、保育所・幼稚園・学校では、各種通知・お便り・ブックリスト等により、絵本だけでなく、保護者向けの本も含めた保護者への啓発と情報提供を今後も行っていく予定です。

### 【具体的な取組】（※詳細は「取組一覧表」を参照）

《施策》	《整理番号》	《取組名》	《担当課》	《備考》
<b>【家庭への読書活動の啓発・広報】</b>				
保護者・子どもへの図書紹介	1	お薦めの本の紹介	保育課 学校教育課	継続・充実
	2	ブックリストの作成や推薦図書コーナーの設置	学校教育課 教育総務課	継続・充実
	3	ブックリスト等の作成・改訂	中央図書館	継続・充実
保護者への啓発	4	お便り等を活用した保護者への啓発	保育課 学校教育課	継続・充実
	5	お便り等を活用した情報提供	学校教育課	継続・充実
読書週間や「子ども読書の日」等における啓発・広報	6	「子ども読書の日」の啓発・広報の推進	保育課 学校教育課	継続・充実
	7	「子ども読書の日」関連行事の実施	学校教育課 教育総務課	継続・充実 継続・充実
	8	「子ども読書の日」のイベント	中央図書館	継続・充実
	9	読書週間の絵本の貸出し	保育課	充実
読書関連イベントを通じた啓発・広報	10	生涯学習施設での各種講座やイベントの開催	生涯学習推進課	継続・充実
	11	図書館の各種講座・イベント	中央図書館	継続・充実
	12	ブックスタート事業	中央図書館	継続・充実
	13	ブックステップ事業	中央図書館	継続・充実

\*8 「公立図書館」：注釈5を参照（